

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《今後の需給基調の変化に注視が必要～新型コロナウイルス感染拡大による生乳需給への影響について～》

- ・5/25に首都圏ならびに北海道の緊急事態宣言が解除されたことによって、全ての地域で解除されたこととなり、今後は徐々に学校や飲食店等の再開が進むと見込まれる。ただし、学校給食の再開状況にはバラつきがあり、飲食店等についても通常の客足に戻るにはまだ時間を要すると想定されることなどから、停滞している業務用需要が急速に回復するかは不透明な状況にある。
- ・また、家庭内消費については、農林水産省の「プラスワンプロジェクト」等の関係者による消費拡大の取組みが奏功し、好調を維持してきたが、以下に示すとおり、5/4週以降はやや落ち着いた販売状況となっていることから、今後の状況を引き続き確認してゆく必要がある。
- ・一方、北海道の生乳生産量がピークを迎えていることから、引き続き気を緩めることなく業界で一致協力して需給調整を行ってゆく必要があるが、今後の学乳や飲食店等の再開の状況によっては、需給基調が緩和からひっ迫に大きく変化する可能性もあるため、今後の牛乳乳製品の需給動向を注視してゆく必要がある。

※5/27、Jミルクにおいては「2020年度上期の生乳及び牛乳乳製品の需給見通しと課題について」公表しました。今後の需給課題について詳細に説明してありますので、情報の共有化を進めていただければ幸いです。

<https://www.j-milk.jp/gyokai/jukyu/h4ogb4000003rie.html>

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1)直近(本年2月～)の動向(表①参照)

・直近(5/18週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同112.2%、成分調整牛乳：同104.5%、加工乳：同99.1%、乳飲料：同103.4%。

・牛乳類トータルでは同109.8%と前年を上回って推移している。

・販売単価は、牛乳：190.2円、成分調整牛乳：174.9円、加工乳：180.8円、乳飲料：150.6円。

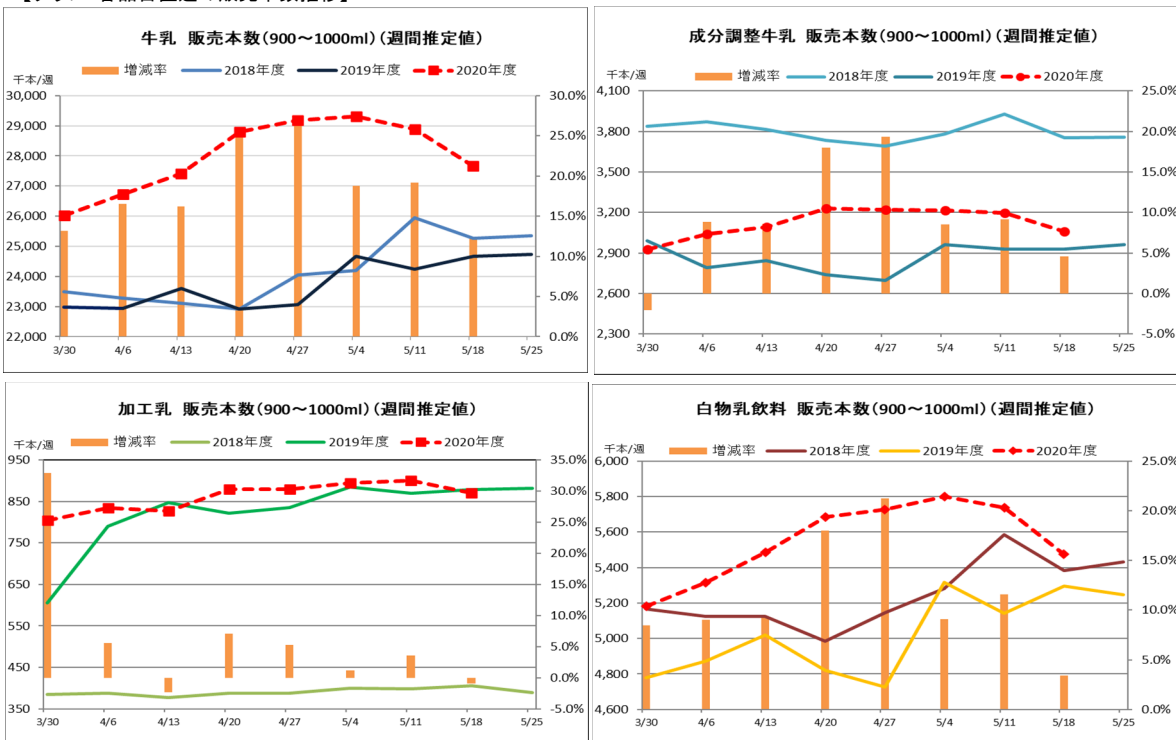
(2)各品目とも前週(5/11週)を下回っており、加工乳は前年をやや下回って推移している。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	区分	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	5.4-	5.11-	5.18-
トータル	販売個数	30,432	31,247	30,644	33,774	32,555	33,491	32,590	34,687	34,935	35,917	36,813	38,603	39,030	39,227	38,725	37,077
	販売個数前年比	101.2	100.7	100.8	110.4	106.4	108.3	105.9	110.3	111.4	114.4	114.0	123.4	124.6	115.9	116.7	109.8
	販売単価	181.5	181.4	181.8	181.4	182.0	181.9	182.0	182.3	181.9	182.5	182.7	183.0	183.3	183.1	182.9	182.9
牛乳	販売個数	22,464	23,070	22,687	24,928	24,150	24,851	24,190	25,793	26,023	26,729	27,412	28,809	29,199	29,316	28,892	27,672
	販売個数前年比	101.9	101.3	101.7	111.0	107.8	109.6	106.9	111.5	113.2	116.5	116.2	125.8	126.6	118.8	119.2	112.2
	販売単価	189.1	189.0	189.3	188.9	189.3	189.3	189.3	189.5	189.1	189.9	190.1	190.3	190.5	190.4	190.3	190.2
成分調整牛乳	販売個数	2,546	2,644	2,556	2,861	2,756	2,817	2,756	2,902	2,927	3,040	3,090	3,230	3,224	3,215	3,195	3,060
	販売個数前年比	82.4	82.9	81.6	90.7	86.8	87.4	86.4	89.2	97.9	108.8	108.6	118.0	119.5	108.6	109.1	104.5
	販売単価	173.0	172.2	173.1	172.6	173.7	173.3	173.4	173.9	173.2	173.5	173.4	174.1	175.0	175.1	174.6	174.9
加工乳	販売個数	716	734	714	796	755	767	741	805	804	834	827	879	879	895	901	871
	販売個数前年比	179.7	176.9	178.2	195.4	183.3	183.9	182.5	190.0	133.0	105.5	97.6	107.0	105.3	101.2	103.6	99.1
	販売単価	182.1	182.0	182.2	182.8	182.3	182.7	182.8	184.7	184.6	184.1	184.7	183.6	182.6	181.5	180.8	180.8
乳飲料	販売個数	4,708	4,800	4,688	5,190	4,894	5,056	4,904	5,187	5,182	5,313	5,485	5,686	5,728	5,801	5,737	5,474
	販売個数前年比	103.7	103.1	102.2	113.6	106.4	109.5	107.6	111.6	108.4	109.1	109.3	118.0	121.2	109.1	111.6	103.4
	販売単価	150.1	150.1	149.9	150.1	150.3	150.4	150.5	150.8	150.5	150.3	150.9	151.5	151.3	151.0	150.7	150.6

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(本年2月～)の動向(表②参照)

直近(5/18週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比100%未満、個食タイプ(70～130ml):同100%未満、大容量タイプ(350～500ml):同105%以上。

(2)各品目とも前週(5/11週)を下回り、ドリンクタイプ・個食タイプについては前年割れとなっている。一方で、大容量タイプについては、引き続き前年を上回って推移している。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	5.4-	5.11-	5.18-
ドリンクタイプ	⇒	⇒	↑	⇒	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	⇒	⇒	↓
個食タイプ	↓	⇒	⇒	↓	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	↑	↓	⇒	↓
大容量タイプ	↓	↓	↑	⇒	⇒	⇒	⇒	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	⇒

-  : 前年比90%未満
-  : 前年比90%以上100%未満
-  : 前年比100%以上105%未満
-  : 前年比105%以上110%未満
-  : 前年比110%以上120%未満
-  : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。

《その他参考情報》

・新型コロナウイルス関連情報  
「新型コロナウイルスの影響による牛乳・乳製品の供給に関するQ&A」を更新しております。  
JミルクHP:<https://www.j-milk.jp/knowledge/nutrition/h4ogb4000003azz.html#hdg1>

・「新しい生活様式」に牛乳・乳製品を  
JミルクHP:<https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000003rjf.html>

・「2020年度上期の生乳及び牛乳乳製品の需給見通しと課題について」  
JミルクHP:<https://www.j-milk.jp/gyokai/jukyuu/h4ogb4000003rie.html>